

事業計画の特徴

- **PPA等の初期投資ゼロモデルによる県有施設への太陽光発電設備等導入**を通じて、当該モデルについて周知を図るとともに、本交付金を活用した民間・個人向けの補助制度の創設により、太陽光発電設備等の導入促進を図る
- 機械電子機器関連産業が盛んである本県では、事業者におけるエネルギー消費量が大きいため、本交付金においては、事業者による太陽光発電設備・蓄電池の導入を重点的に実施する。
- 「P2Gシステムやまなしモデル」の実証研究について世界に先駆けて取り組んでいる本県として、**本交付金による純水素燃料電池の導入や、県公用車FCVの県民等への貸出**も含め、**水素社会に向けた普及促進にも努める。**

事業計画の概要（民間）再エネ：9,912kW

取組（個人）	規模
太陽光発電設備の導入	<ul style="list-style-type: none"> • 24件 • 136kW
蓄電池の導入	<ul style="list-style-type: none"> • 16件 • 80kWh
EV・PHV等の導入	<ul style="list-style-type: none"> • 25件
充放電設備の導入	<ul style="list-style-type: none"> • 27件
取組（事業者）	規模
太陽光発電設備の導入	<ul style="list-style-type: none"> • 195件 • 9,776kW
蓄電池の導入	<ul style="list-style-type: none"> • 9件 • 384kWh

事業計画の概要（公共）再エネ：3,956kW

取組	規模
太陽光発電設備の導入（PPA等）	<ul style="list-style-type: none"> • 42件 • 3,906kW
蓄電池の導入	<ul style="list-style-type: none"> • 12件 • 87kWh
水素燃料電池の導入	<ul style="list-style-type: none"> • 1件 • 50kW

事業計画の効果・費用

再エネ導入	CO2削減	総事業費	交付金額	計画期間
13,818kW	164,810 t-CO2	19.2億円	12.1億円	令和5年度～令和9年度

取組のイメージ

2050年山梨県カーボンニュートラル実現加速化事業
～やまなし発GX推進計画～

事業内容

- (EV・PHV及び充放電設備導入支援)
- (太陽光発電設備・蓄電池の導入)
- (県有施設への水素活用設備の導入)
- 燃料電池の導入



交付金事業のほか県有施設のLED化、普及啓発等に取り組む



県公用車FCV